

保護者の皆様

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

今後の小宮小学校の感染対策について

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご協力くださり誠にありがとうございます。

さて、連日の報道等にあるように新型コロナウイルス感染拡大が極めて深刻化している状況となっています。また今回のデルタ株は10歳以下の子どもも感染しやすく、子どもから大人への感染という事態も懸念されています。

そこで小宮小学校といたしましても、学校内での感染を何としても防ぎ、豊かな教育活動を継続して行っていくために、より踏み込んだ感染対策を考え、2学期を迎えました。ただし、この感染対策について保護者の皆様にしかりとご説明ができていませんでした。

つきましては、今一度、小宮小学校としての感染対策を以下お伝えし、保護者の皆様と共に児童を感染から守っていきたいと考えます。ご不明な点等がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

※赤字は、これまでの対策に加えて新たに追加した対策です。

1. 小宮小学校の感染対策の考え方

- ・「ウイルスを持ち込ませない、広げさせない、持ち帰らせない」という視点から感染対策を行う。
- ・校内での感染およびクラスターの発生を防ぐという視点から感染対策を行う。

2. 感染対策の実践

(1) 「ウイルスを持ち込ませない」対策

- ・ご家庭では、登校前に発熱等の症状が見られる場合は、お子様の登校を控えていただきます。
- ・登校時に健康観察票による検温結果の確認と健康状態を把握します。
- ・登校後に体調不良を訴えた児童は、すぐに下校していただきます。(早退)
- ・児童が校舎に入る前に、健康観察票をもとに体温の確認と健康状態を把握します。
- ・入校前の検温で異常が認められなかった場合は、アルコール消毒液で消毒を行い入校します。(アルコールが皮膚に何らかの影響を与えてしまう児童の場合は行いません。)

文科省「新しい学校の生活様式」で示されている「感染源を断つ」に基づき、朝の健康観察はという目的で取り組んでまいりました。ただし、これだけでは無症状の児童がすり抜けてしまう可能性があります。そのために、「感染源を断つ」という取組をした上で、「ウイルスが持ち込まれているかもしれない」という視点に立って、飛沫感染、接触感染を断つ取組を行っていく必要があると考えます。

(2) 「ウイルスを広げさせない」対策

いわゆる三密を避ける対策です。ただし学校内は決められた空間の中に、一定の人数の子供たちが学習することから、厳密に2メートル間隔等のソーシャルディスタンスをとることができません。学校としてもできる限りの対策を考えていますが、100%三密を避けることは難しい状況です。

そこでソーシャルディスタンスの取組と併せてしっかりと換気を行うことで、飛沫感染、接触感染を防いでいき

いと考えています。文科省から示されている「新しい学校での生活様式」には次のように書かれています。「それぞれの施設の状況や感染リスクの状況に応じて、柔軟に対応することが可能です。座席の間隔に一律にこだわるのではなく、頻繁な換気などを組み合わせることなどにより、現場の状況に応じて柔軟に対応するようお願いします。」

本校では、この指針をもとにできる限りのソーシャルディスタンスと換気、マスクの着用と手洗いを組み合わせて以下のように「ウィルスを広げさせない」取組を進めていきます。

①教室の感染対策

- ・児童の机を接触させず、一つ一つを独立させて配置する。その場合は、教室の空間を最大限活用し、できる限り間隔を開けます。
- ・教室内の窓およびオープンスペースの窓を開け、空気の流れを作り出し常時換気を行います。

②授業での感染対策

- ・マスクを着用して授業に参加するようにします。
 - ・基本的に友達と学習用具の貸し借りはしません。
 - ・音楽では、リコーダーや鍵盤ハーモニカの学習でマスクを外す際は、一斉に指導を行うのではなく、間隔をとって演奏をします。歌唱は一定方向を向いて、マスクをして歌います。
 - ・理科、図工、家庭科では、机の配置が向き合っているため、私語に気を付けて学習をすすめます。またグループで活動を行うことが難しい場合は、取りやめるなど状況に応じて対応します。
 - ・体育では、校庭での場合は、一定の間隔をとってマスクを外して運動を行い、体育館を使用する際は原則マスクを着用して運動をします。(マスクを着用しても熱中症等にならない程度の運動を行います。)
 - ・運動会の練習もこの体育の原則で行います。校庭でマスクを外して練習をした場合でも、話し合う時などはマスクを着用します。
- ◎様々な学習の形態がありますが、授業をする教員が必要と判断した場合は、アルコール消毒を行い、感染対策を徹底します。

③給食時の感染対策

食事の際はもっとも感染リスクが高いとされていることから、給食時では以下のような対策を進めてまいります。

【現在の対策】

- ・給食の開始時には、全員手洗いをを行います。
- ・配膳の用意の際は、配膳を待つ間は、マスクを着用して話はしません。
- ・配膳の際は、給食当番はマスクを着用して配膳する。配膳器具を複数の児童が共有しないようにします。
- ・喫食の際は、全机を前方向に向けて、「黙食」を行います。
- ・喫食が終わった児童はマスクを着用して、静かに終了時刻を待ちます。
- ・「ごちそうさま」で食事が終わったら、全員手洗いをします。

④教員による感染対策

教員が児童に感染させないために、最も効果的とされる「不織布のマスク」を着用して授業等を行います。また、児童においても、可能であればできるだけ不織布のマスクの着用を奨励いたします。(この場合も記

名はお願いいたします。)

⑤学校行事での感染対策

まず、本校は、学校行事について以下のような基本的な考え方をすすめたいと考えています。

学校行事は、どの学年の子供たちにとっても学校行事は「たった一度の機会」であり、大きな成長の機会です。そして学校生活の大きな思い出となります。したがって感染対策を講じて多少窮屈になったとしても、こうした子供たちにとっての成長の場はできるだけ大事にしていきたいと考えます。

その上で、状況を鑑みながら開催方法や内容を柔軟に検討していきます。そして感染拡大がさらに深刻化し、開催そのものが大きなリスクを生み出すような場合は、「命最優先」で判断をまいります。

運動会についても、できる感染対策を行って、子供たち自身による「伝えたい想い」を見ている保護者の方に伝えられる運動会としたいと考え、現在練習を開始したところです。今年度も午前中開催で密集する時間を短縮し、各学年「走る」と「表現」することの2つを行う予定です(騎馬戦等の団体競技は行いません)。

ただし、開催方法については、現在、感染対策を十分考慮に入れた形態を検討しています。内容が決まりましたら、運動会の開催案内として、保護者の皆様にお伝えいたします。

⑥アルコール消毒について

文科省「新しい学校の生活様式」では、消毒について「消毒は、感染源であるウィルス死滅させ、減少させる効果はありますが、学校生活の中で消毒によりウィルスをすべて死滅させることは困難です。このため、一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒等の抵抗力を高め、手洗いを徹底することの方が重要です。」とあることから、本校では手洗いによる感染防止を行ってまいりました。

しかし、長引く感染対策から、手洗いも不十分になりつつあり、そして今回のデルタ株の深刻な感染状況から、以下のように対策をさらに行うことといたします。

- ・学校に入る前と学校から帰る時は、アルコール消毒を行います。
- ・学習形態によっては、授業を担当する教員の判断でアルコール消毒を行います。
- ◎ご家庭の判断でアルコール消毒液を持参することは可能です。

(3)「ウィルスを持ち帰らせない」対策

ウィルスを持ち帰らせない対策として、下校時にアルコール消毒を行います。

3. 登校自粛時のオンライン学習およびその際の人権尊重の配慮について

8月26日発出の学校からの通知でも書かせていただきましたが、コロナ感染の怖れから、学校の登校を自粛することは可能です。この場合は欠席とはならず、出席停止扱いとし、オンラインによる学習をしていただきます。

オンラインの学習についての詳細は、8月31日発出の「タブレット端末の持ち帰りとはデジタル配信のお願い」の文書でご確認ください。

また、登校自粛している児童が、周りから学校に行っていないことについて心無い言葉を言われたり、放課後の時間に遊んでいる時に、「休んでいるのになぜ遊んでいるのか。」というようなことを言われたりすることのないように配慮したいと考えております。このことについては、9月1日に校長から全校児童にお話をいたしました。保護者の皆様におかれましても、この点についてのご配慮をよろしくお願いいたします。